ディスクロージャー実務を支援する
PRONEXUS

平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月31日

上場会社名　　株式会社プロネクサス　　上場取引所　東
コード番号　　7893　　ＵＲＬ　http://www.pronexus.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）上野　剛史
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員社長室長　　（氏名）大和田　雅博　　ＴＥＬ　03-5777-3111

四半期報告書提出予定日　　平成24年11月14日　　配当支払開始予定日　平成24年12月５日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	10,601	△1.3	1,996	△3.2	1,990	△2.5	1,221	3.5
24年３月期第２四半期	10,743	△7.2	2,062	13.2	2,041	12.1	1,179	―

（注）包括利益　25年３月期第２四半期　1,202百万円（0.0%）　24年３月期第２四半期　1,201百万円（―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	36.10	―
24年３月期第２四半期	33.28	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	28,497	21,899	76.4
24年３月期	27,615	21,943	79.1

（参考）自己資本　25年３月期第２四半期　21,775百万円　24年３月期　21,830百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	8.00	―	9.00	17.00
25年３月期	―	9.00			
25年３月期（予想）			―	9.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	4.0	1,800	6.8	1,750	7.0	1,080	1.9	31.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：有
④　修正再表示　：無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、〔添付資料〕P.4「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	37,327,700株	24年３月期	39,327,700株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	3,886,061株	24年３月期	3,919,861株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	33,823,475株	24年３月期２Ｑ	35,441,782株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕P.4「１．当四半期決算に関する定性的情報(３)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。また、第２四半期及び期末の決算について、アナリスト向け説明会を開催しております。決算説明会で配布した資料、説明内容(映像及び音声)を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… P. 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… P. 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… P. 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… P. 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… P. 4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… P. 4
３．四半期連結財務諸表 …… P. 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… P. 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… P. 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… P. 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… P. 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… P. 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… P. 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… P. 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

① わが国経済の状況

当第２四半期連結累計期間（以下、当第２四半期）におけるわが国経済は、長引く円高の影響に加えて、欧州債務問題の長期化、中国の経済成長鈍化や反日的行動の発生等の影響を受けて、依然として厳しい状況にあります。当社事業との関連性が高い国内証券市場は、１万円台でスタートした日経平均株価が４月以降低落を続け、8,000円台後半を中心に推移しました。

② 業績の概況

当第２四半期は、国内上場会社数の減少や競争激化の影響等により上場会社ディスクロージャー関連・上場会社ＩＲ関連等の売上高が減少しました。一方、金融商品ディスクロージャー関連・データベース関連の売上高は、前年同期比微増となりました。この結果、当第２四半期の連結売上高は、前年同期比142百万円減（前年同期比1.3％減）の10,601百万円となりました。なお、当第２四半期連結会計期間（７－９月期）の前年同期比は、123百万円の増加となっております。

利益面では、原価率が低下したものの売上高の減少と販管費の増加により、営業利益は前年同期比65百万円減（同3.2％減）の1,996百万円となりました。経常利益は前年同期比51百万円減（同2.5％減）の1,990百万円となりましたが、四半期純利益は法人税法の改正等により前年同期比41百万円増（同3.5％増）の1,221百万円となりました。

１）製品別の販売動向

＜上場会社ディスクロージャー関連＞

国内上場会社数の減少幅は前年同期比約50社減まで縮小したものの、競争激化の影響等もあって、株主総会招集通知および決算関連書類の売上が減少しました。一方、会計連携・開示支援システム「ＷＯＲＫＳ－ｉ」は利用顧客数の増加により売上が増加しました。また、当第２四半期において、大型のファイナンスやＩＰＯ案件を受注したことから目論見書等の売上が増加しました。これらの結果、上場会社ディスクロージャー関連の売上高は前年同期比108百万円減（同1.9％減）の5,648百万円となりました。

＜上場会社ＩＲ関連等＞

国内上場会社数の減少や競争激化の影響等により、株主向け年次報告書（株主通信）の売上が減少しました。一方、Ｗｅｂ－ＩＲサービスや、英文ＩＲツール、株主総会ビジュアルツール等の売上は増加したものの、株主通信の減少をカバーするに至らず、上場会社ＩＲ関連等の売上高は前年同期比54百万円減（同2.0％減）の2,623百万円となりました。

＜金融商品ディスクロージャー関連＞

国内投資信託の設定本数は増加傾向にあるものの、販売数の低迷により関連製品の受注量が減少しています。また、外国投資信託については設定本数が減少傾向にあります。こうしたマイナス影響をカバーすべく、販促ツールやＷｅｂサービス等の拡販に取り組みました。一方、不動産投資信託の４年半ぶりの新規上場（ＩＰＯ）等のプラス要因もありました。この結果、金融商品ディスクロージャー関連の売上高は前年同期比12百万円増（同0.6％増）の2,213百万円となりました。

＜データベース関連＞

主力製品の企業情報データベース「ｅｏｌＤＢ」や「ＡｓｉａＯｎｅ」の拡販に取り組むとともに、「日本の企業100万社」のデータ販売や台湾市場の開拓等、事業領域の拡大を目的としたマーケティング活動に注力しました。この結果、データベース関連の売上高は前年同期比7百万円増（同7.2％増）の115百万円となりました。

（製品区分別売上）

区分	前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）		当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）		増減（△印減）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	増減率（%）
上場会社ディスクロージャー関連	5,757,265	53.6	5,648,886	53.3	△108,378	△1.9
上場会社ＩＲ関連等	2,677,748	24.9	2,623,650	24.7	△54,097	△2.0
金融商品ディスクロージャー関連	2,200,806	20.5	2,213,272	20.9	12,466	0.6
データベース関連	108,092	1.0	115,856	1.1	7,764	7.2
合計	10,743,912	100.0	10,601,667	100.0	△142,245	△1.3

（注）１．金額は販売価格によっております。
２．上記金額には、消費税等は含まれておりません。

２）利益の概況

当第２四半期は、全社的なコスト削減活動の推進により原価率が前年同期の55.2%から54.5%に0.7ポイント改善した結果、売上高は減少したものの売上総利益は14百万円増加しました。一方、営業体制の強化により販管費は80百万円増加しました。この結果、営業利益は前年同期比65百万円減（同3.2%減）の1,996百万円となりました。

営業外収益49百万円と営業外費用56百万円を加減し、経常利益は前年同期比51百万円減（同2.5%減）の1,990百万円となりました。税金等調整前四半期純利益は前年同期比42百万円減（同2.1%減）の1,990百万円となりました。一方、四半期純利益は、昨年末の税制改正に伴う法人税率の引き下げ等により前年同期比41百万円増（同3.5%増）の1,221百万円となりました。

③ 第２四半期の季節性

当社グループの売上の約75%を占める上場会社向け製品・サービスは、顧客の約70%が３月決算会社であるため、決算及び株主総会関連製品の受注が第１四半期連結会計期間に集中します。このため、下表のとおり第１四半期連結会計期間（４－６月期）の売上が４割を超え、第２四半期連結会計期間（７－９月期）は２割以下にとどまります。

（参考）平成24年３月期

	第１四半期（４－６月期）	第２四半期（７－９月期）	第３四半期（10－12月期）	第４四半期（１－３月期）	年度計
売上高　（百万円）	7,729	3,014	3,858	3,183	17,785
構成比　（%）	43.5	16.9	21.7	17.9	100.0

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末（以下、当第２四半期末）における資産合計は、前連結会計年度末に比べ881百万円増加し28,497百万円となりました。主な要因は、有価証券の増加701百万円及び現金及び預金の増加228百万円等です。

当第２四半期末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ925百万円増加し6,598百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加761百万円及び短期借入金の増加100百万円等です。

当第２四半期末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ43百万円減少し21,899百万円となりました。主な要因は、四半期純利益1,221百万円計上による増加と剰余金の配当による減少318百万円及び自己株式の取得による減少927百万円等です。この結果、自己資本比率は、76.4%となりました。

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第２四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,529百万円増加し、13,047百万円となりました。

当第２四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2,725百万円（前年同期は3,588百万円の獲得）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,990百万円に対し、非資金損益項目等の調整を加減した営業取引による収入2,722百万円、法人税等の支払額20百万円及び利息及び配当金の受取額19百万円等です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は151百万円（前年同期は172百万円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入700百万円、有価証券の売却による収入1,000百万円等であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出700百万円、有価証券の取得による支出404百万円及び無形固定資産の取得による支出350百万円等です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,348百万円（前年同期は358百万円の使用）となりました。収入の主な内訳は、短期借入れによる収入150百万円等であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出187百万円、自己株式の取得による支出927百万円及び配当金の支払額317百万円等です。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

＜当期の見通し＞

連結業績予想につきましては、平成24年５月７日の「平成24年３月期　決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,382,134	9,610,763
受取手形及び売掛金	1,489,460	1,486,657
有価証券	4,340,347	5,041,715
仕掛品	218,146	189,650
原材料及び貯蔵品	6,686	6,324
その他	536,900	526,685
貸倒引当金	△8,385	△8,045
流動資産合計	15,965,290	16,853,751
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,820,343	1,743,670
機械装置及び運搬具（純額）	624,023	553,465
土地	3,887,672	3,887,672
その他（純額）	173,292	195,578
有形固定資産合計	6,505,332	6,380,386
無形固定資産	1,297,561	1,478,931
投資その他の資産		
投資有価証券	2,526,538	2,465,361
その他	1,355,923	1,353,178
貸倒引当金	△34,858	△34,014
投資その他の資産合計	3,847,603	3,784,524
固定資産合計	11,650,497	11,643,842
資産合計	27,615,788	28,497,593

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	378,931	335,689
短期借入金	505,000	605,000
未払法人税等	39,691	801,008
賞与引当金	431,082	459,137
その他	1,272,446	1,571,842
流動負債合計	2,627,152	3,772,677
固定負債		
長期借入金	750,000	562,500
退職給付引当金	881,918	899,243
役員退職慰労引当金	42,658	23,542
その他	1,370,858	1,340,049
固定負債合計	3,045,435	2,825,334
負債合計	5,672,588	6,598,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,058,650	3,058,650
資本剰余金	4,683,596	4,683,596
利益剰余金	16,923,665	16,514,299
自己株式	△2,933,493	△2,548,792
株主資本合計	21,732,418	21,707,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,263	68,066
その他の包括利益累計額合計	98,263	68,066
少数株主持分	112,518	123,760
純資産合計	21,943,200	21,899,581
負債純資産合計	27,615,788	28,497,593

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	10,743,912	10,601,667
売上原価	5,932,883	5,775,717
売上総利益	4,811,029	4,825,949
販売費及び一般管理費	2,748,606	2,829,375
営業利益	2,062,422	1,996,573
営業外収益		
受取利息	4,850	5,332
受取配当金	9,623	8,855
設備賃貸料	18,417	18,067
その他	24,838	17,652
営業外収益合計	57,730	49,907
営業外費用		
支払利息	14,069	10,534
投資事業組合運用損	57,614	31,959
その他	7,029	13,659
営業外費用合計	78,713	56,153
経常利益	2,041,439	1,990,327
特別損失		
投資有価証券評価損	8,149	－
特別損失合計	8,149	－
税金等調整前四半期純利益	2,033,290	1,990,327
法人税、住民税及び事業税	134,450	780,211
法人税等調整額	704,020	△22,191
法人税等合計	838,470	758,019
少数株主損益調整前四半期純利益	1,194,819	1,232,307
少数株主利益	15,181	11,241
四半期純利益	1,179,637	1,221,066

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,194,819	1,232,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,825	△30,196
その他の包括利益合計	6,825	△30,196
四半期包括利益	1,201,644	1,202,111
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,186,463	1,190,870
少数株主に係る四半期包括利益	15,181	11,241

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,033,290	1,990,327
減価償却費	441,981	432,518
引当金の増減額（△は減少）	24,979	25,079
受取利息及び受取配当金	△14,474	△14,187
支払利息	14,069	10,534
売上債権の増減額（△は増加）	618,430	385,497
たな卸資産の増減額（△は増加）	49,409	28,857
仕入債務の増減額（△は減少）	△153,239	△71,498
その他	234,858	△64,840
小計	3,249,305	2,722,288
利息及び配当金の受取額	24,662	19,406
利息の支払額	△14,890	△11,501
法人税等の支払額	△22,926	△20,408
法人税等の還付額	351,970	15,894
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,588,120	2,725,678
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△700,000	△700,000
定期預金の払戻による収入	－	700,000
有価証券の取得による支出	－	△404,704
有価証券の売却による収入	1,000,000	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△38,457	△74,157
無形固定資産の取得による支出	△224,549	△350,581
投資有価証券の取得による支出	△5,579	△52,710
投資有価証券の売却による収入	132,814	－
投資事業組合への支出	△50,000	△25,000
その他	58,404	59,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	172,632	151,846
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	250,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
長期借入金の返済による支出	△187,500	△187,500
自己株式の取得による支出	△9	△927,059
配当金の支払額	△354,165	△317,692
その他	△16,389	△16,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	△358,064	△1,348,345
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,402,688	1,529,180
現金及び現金同等物の期首残高	9,376,772	11,518,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,779,460	13,047,815

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

なお、当社は、平成24年３月22日開催の取締役会決議に基づき、第１四半期連結会計期間において普通株式1,966,200株、927,059千円の自己株式を取得しております。

また、平成24年６月15日開催の取締役会決議に基づき、平成24年６月29日付で普通株式2,000,000株の自己株式を消却しております。この結果、自己株式及び利益剰余金が1,311,761千円減少しております。